

TOPIC

大学院保健科学研究科保健科学専攻(修士課程)設置認可



令和7年4月1日 福島駅前キャンパス に開設

理学療法学、作業療法学、診療放射線科学、臨床検査学の4領域を設け、定員は16名。

令和7年4月に大学院保健科学研究科保健科学専攻(修士課程)を開設するため、文部科学省へ認可申請をしております。

そして、このたび令和6年8月29日付けで文部科学大臣から正式に認可となり、令和7年4月1日から福島駅前キャンパスに開設することとなりました。 本学は2011年

の東日本大震災からの復興や高度で安定した医療体制の実現、不足する医療人材の育成、教育、世界に伍していける研究の推進など、国内外から高い評価を得ています。

正式認可に際し、竹之下誠一理事長兼学長は、「多職種協働の視点を持ちながら先進的かつ高度な医療を実践できる医療人、

これからの医学・医療をリードする研究者となり、福島県の医療に貢献してくれることを期待する」とコメントを発表いたしました。

学生募集要項は
10月に発表
入試説明会も開催予定



REPORT

本学保健科学部研究グループによる小学校から高齢者まで健康に寄与する測定会開催



●65歳以上対象体力測定会

本学保健科学部理学療法学科、作業療法学科及び臨床検査学科教員からなる介護予防研究チームは、令和6年8月21日(水)22日(木)に、南相馬市、8月31日(土)9月1日(日)に鏡石町で、それぞれの自治体などと共催し65歳以上を対象とした体力測定会を開催しました。

当日は学生約30名も加わり、参加者に対して血管老化度や歩行能力など全身の健康状態や生活機能などについて測定を行いました。

最後に行われたフィードバックでは、フレイル予防に役立ててもらえるように、分析結果の説明と日常生活で気を付けるポイント紹介しました。



●小学生対象身心の健康調査

本学保健科学部研究グループは、令和6年8月26日(月)27日(火)に、「子どもの身体と心の健康を支援する眠育・食育・足育調査」を福島市立平野小学校全生徒486人を対象に授業として昨年に続き調査を行いました。

来年まで継続して「眠育、食育、足育」に関する

3年間の経年変化を調べ、肥満や虫歯の防止など生徒さんの健康に役立ていただけるようにします。

本年11月15日(金)に、調査の結果を踏まえた全校集会を実施し生徒の皆さんにフィードバックを、平野中学校にも9月17日(火)、18日(水)に実施を予定しています。



夏休み企画 医師・看護師お仕事体験開催～夏の思い出が未来の道へ～

令和6年8月10日(土)・11日(日)ふくしまSDGs未来博(主催:ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム)、8月18日(日)、まなびチャレンジ!お仕事体験2024(主催:福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ)で医師/看護師お仕事体験を開催しました。夏休み中にもかかわらず、たくさんのお子様に体験いただき、誠に有難うございました。

今後も本学では、お仕事体験を実施していく予定です。

目的	体験を通して、医師・看護師のお仕事や自身の健康に興味を持っていただくことを目的に実施。
体験・展示内容	電気メス体験、超音波検査機器クイズ、看護師衣装体験、 血圧・血中酸素濃度測定、聴診器体験。*手術体験は神田産業段ボール製救急救命室使用。 ECMOを搭載したドクターカー試乗体験、DMATカー試乗体験 BLS(心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置)体験・ トランシーバー体験
実施体制	臨床工学センター、附属病院看護部、災害医療部、学生ボランティアの皆さん(広報サークルPR_Labボランティアサークルぬいぐるみ病院、看護学部学生委員会)、企画財務課



NEWS 様々ながん疾患啓発カラーをあなたはいくつご存じでしょうか

令和6年8月31日(土)、9月1日(日)、あづま総合体育館で開催されたリレーフォーライフジャパン福島で、本学学生がトークセッションに参加しました。
「心をつなぐクロスリボンリレートーク」と題し、様々ながん疾患啓発カラーの中から選んだリボンを片手に、なぜその色を選んだのか、どんな医師を目指しているのかなどをそれぞれ発表しました。

紫色を選んだ医学部4年生甲賀備資さん、同3年生金澤ひらりさんはラベンダーカラー、同3年生大橋由生さんはゴールドと緑を。
様々な疾患のがん患者さん同士が支え合うクロス、家族・社会・多職種連携で患者さんに寄り添うクロス。
様々なカラーのリボンがクロスする会場から、がん疾患に向き合う患者さんへ心をつなぐエールを送りました。



NEWS 本学広報サークルが助成金の交付

令和6年8月23日(金)本学広報サークル「FMU PR_Lab」が東北ろうきん20周年記念事業2024年「大学生ボランティア活動向け助成金制度～未来へのタスキ～」の交付を受けました。
本学サークルとしては、2023年度のボランティアサークル「Tomorrow」に続き2年連続の交付採択となります。
「FMU PR_Lab」サークルは福島県立医科大学と福島の魅力を発信する学生広報団体と

して発足しました。これまでに、学生目線で学生が中心となって様々な角度から情報を発信し、直近では小中高生向けに医療を身近に体験できるイベントの企画運営を行うなど現在50名が所属積極的に活動しています。
今回の交付採択を受けて、サークル代表の医学部3年生大橋由生さんは、「これからも医大やふくしまの魅力を発信し、活動の幅を広げていきたい」と今後の意気込みを語りました。